

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	The significance of incomplete excision in patients with basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	BCC 患者における不完全切除の重要性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ10-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	3814899	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Plast Surg	
	雑誌 ID		
	巻	40	
	号	1	
	ページ	63-7	
	ISSN ナンバー	0007-1226	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1987	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Richmond JD	Plastic Surgery and Pathology, Bangour General Hospital
その他著者 1		Davie RM	
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	BCC 患者における不完全切除の重要性を検証	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Bangour General Hospital	
	対象者	BCC に対する手術（全 850 例中）における不完全切除 67 例（1970～1979 年）。28 例（41%）は原発巣、39 例（59%）は再発例。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	手術時の不完全切除	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	5 年後の再発率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	BCC に対する手術が不完全切除であった症例を追跡調査した。内訳は、ほとんどが顔面正中中部であり、側方残存が 37 例、深部が 25 例、両方が 5 例であった。すぐに追加治療を行った 7 例は再発がみられなかった。経過観察とした群 60 例中 23 例は臨床的に再発がみられた。不完全切除が原因となった再発は側方深部の両方に出現した。特に放射線治療が行われていたケース、深部断端に再発しそれが皮弁で被覆されているケースでそのコントロールが難しかった。	
	結論	不完全切除と診断されたら、速やかに再切除を行うことが望ましい。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 不完全切除例に対して経過観察を行った症例の追跡調査は数少ない。部位、組織所見、再建方法も調査している点はユニークである。	